

TAKE OFF

ふくおかの近代

文化庁 平成28年度
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
博多湾岸《金印ロード》資源活用プロジェクト

“近代文化遺産の魅力” 再発見 トークイベント開催

予約不要・聴講無料

現存最古の走行可能な国産自動車“アロー号”
を題材に、近代の文化遺産にまつわる保存と活
用の問題を整理・検討し、近代文化遺産の魅力
に迫ります。

※アロー号100年記念ワークショップ

「機械遺産・アロー号の魅力を探る」

1916(大正5)年に完成した現存最古の走行可能な国産自動車アロー号。
2009(平成21)年に機械遺産に登録されたアロー号の魅力さをさぐると
ともに、最新の三次元計測によって得られた成果を発表します。

日時：平成28年11月20日(日) 14:00~16:00 (開場13:30)
場所：福岡市博物館1階 講堂

講師：吉田 敬介 (九州大学大学院工学研究院教授)
講師：本田 浩二郎 (福岡市博物館主任文化財主事)
講師：長沢 潔 (昌運工業株式会社取締役)

※シンポジウム

「^{のこ}遺して活かす近代化遺産・ 機械遺産」

近代化遺産、産業遺産、機械遺産の保存や活用に従事するエキスパート
をパネリストに迎え、近代文化遺産の保存・活用法について徹底討論
します。

日時：平成28年12月10日(土) 14:00~16:30 (開場13:30)
場所：福岡市博物館1階 講堂

パネリスト：鈴木 一義 (国立科学博物館)
中山 俊介 (東京文化財研究所)
三島 美佐子 (九州大学総合研究博物館)
市原 猛志 (日本機械学会)

コーディネーター：有馬 学 (福岡市博物館館長)



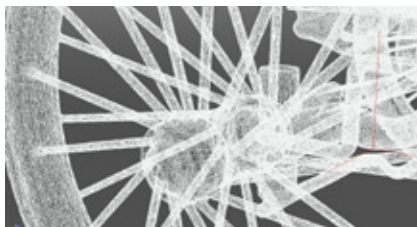
福岡市博物館
Fukuoka City Museum



機械遺産 “アロー号”

私たちの生活にかかせない乗り物、自動車。日本では、大正時代から自動車が作られました。当館常設展示室にあるアロー号(株式会社矢野特殊自動車所有)は、現存最古の動く国産自動車です。

制作者は、福岡工業学校(現福岡工業高校)出身の矢野倅一。飛行機が好きだった矢野青年に、純国産車の製作をすすめたのは、実業家村上義太郎でした。矢野は、大正2年(1913)の8月から設計を開始、車の名前は自身の名字から「アロー号」としました。完成は、大正5(1916)年8月、今から100年前のことでした。



アロー号100年記念ワークショップ 「機械遺産・アロー号の魅力を探る」

シンポジウム 「遺して活かす近代化遺産・機械遺産」

《講師紹介》

吉田敬介(よしだ・けいすけ)

九州大学大学院工学研究院教授
1957年生まれ。九州大学大学院工学研究科博士
後期課程単位取得退学。工学博士。機械工学の研究
とものづくりの社会普及に従事する。

本田浩二郎(ほんだ・こうじろう)

福岡市博物館主任文化財主事
1972年生まれ。熊本大学文学部卒業。考古学を専
門とする。近年、福岡市博物館における資料の三次
元計測に従事する。

長沢潔(ながさわ・きよし)

昌運工業株式会社取締役
1972年生まれ。長崎大学経済学部卒業。
3Dスキャナを活用した3次元計測および3Dデータ写
真からの3Dモデル作成、3Dプリンタを利用したモデ
ル出力を専門とする。

《登壇者紹介》

鈴木一義(すずき・かずよし)

(独法)国立科学博物館産業技術史情
報センター長
1957年生まれ。東京都立大学大学院
工学研究科修了。江戸時代から現代
の科学技術史を専門とする。

中山俊介(なかやま・しゅんすけ)

(独法)国立文化財機構東京文化財研
究所文化遺産国際協力センター長
1958年生まれ。東海大学海洋学部
卒。大型構造物や機械類の保存・活用
を専門とする。

有馬学(ありま・まなぶ)

福岡市博物館館長
九州大学名誉教授。1945年生まれ。
近代日本政治史を専門とし、近代産業
遺産の保存・活用問題にもかかわる。

三島美佐子(みしま・みさこ)

九州大学総合研究博物館准教授
1969年生まれ。東京都立大学理学研
究科修了。博士(理学)。植物標本の歴
史学的研究とその開示方法に関する
研究を専門とする。

市原猛志(いちばら・たけし)

日本機械学会・機械遺産委員会委員
1979年生まれ。九州大学人間環境学
府博士後期課程修了。博士(工学)。
北部九州の近代化遺産の保存・活用
を専門とする。

関連企画 特別展

大正・昭和の福岡市—アロー号とその時代—

日時 平成28年11月19日(土)～平成28年12月25日(日)

場所 福岡市博物館2F 特別展示室B

観覧料 一般200(150)円 高・大生150(100)円 中学生以下無料

協力 株式会社矢野特殊自動車

完成100年を記念し、アロー号が作られた時代の福岡を紹介する展覧会です。アロー号製作の経緯、江戸時代から明治・大正・昭和時代の乗り物の変遷、福岡市の都市発展に関する資料などを展示します。

 **福岡市博物館**
Fukuoka City Museum

開館時間:午前9時30分～午後5時30分まで
休館日:月曜日(月曜日が祝休日の場合は開館し、翌平日に休館)

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目1-1
TEL: 092-845-5011
FAX: 092-845-5019

アクセス マップ

